

ダイナックスの取り組みが「令和6年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞」の大賞と奨励賞を受賞

令和 6 年度北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞(主催:北海道)の新エネルギー部門において、「積雪に対応した北海道内最大規模のカーポート型メガソーラー」が「大賞」を受賞、また自然電力株式会社、株式会社苫東、株式会社ダイナックス(以下「当社」)の3者共同で応募を行っていた「北海道内最大規模の自家消費型メガソーラーの導入」が「奨励賞」を受賞し、10月22日に表彰式が行われました。

北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞は、省エネルギーの促進及び新エネルギーの開発・導入の促進に関し、顕著な功績のあった団体等を北海道が表彰するもの。



受賞者 記念撮影



表彰式（大賞 盾贈呈）
左から 三橋北海道副知事、
川合取締役常務執行役員



表彰式（奨励賞 賞状贈呈）
左から 三橋北海道副知事、川合取締役常務執行役員、
瀧口執行役員事業部長(自然電力)、
辻代表取締役社長(苫東)

当社の取り組みが他者に展開が可能な市場性の高いモデル事例と評価いただき、受賞する運びとなりました。各々の選考理由は以下となります。

大賞	積雪に対応した北海道内最大規模のカーポート型メガソーラーの導入		
	受賞者	(株)ダイナックス	
	選考理由	・両面受光パネルを採用し、積雪時にも発電が可能。 ・カーポートは千歳・苫小牧2工場合計で784台分、太陽光発電設備2.2MWの設置。年間CO2削減量は1,404トンと効果大きい。 ・従業員駐車場へのソーラーカーポート導入が、土地の有効利用に加え、省エネや福利厚生にもつながっている点も評価。	
奨励賞	北海道内最大規模の自家消費型メガソーラーの導入		
	受賞者	(株)ダイナックス、自然電力(株)、(株)苫東	
	選考理由	・(株)ダイナックスが自家消費型メガソーラーを導入。自然電力(株)と直接供給型の電力供給契約を結び、(株)苫東より賃借した土地に太陽光発電設備を建設。自営線で工場へ直接電力を供給する独自性の高い取組。 ・年間CO2削減量は2,652トンで、工場の排出量9.5%を削減。再エネ比率も16.5ポイント向上した。 ・他の敷地に自営線を通して実現したシステムで、他社との協議が成功した事例としても評価。	

出典：道庁プレスリリースより

当社は、2050年にカーボンニュートラルを目指し取り組んでおり、2030年には2019年度比で温室効果ガス(GHG)排出量を46%削減することを目標に掲げています。

本受賞を励みとし、今後益々再生可能エネルギーの導入をはじめ、環境に配慮した製品群の拡充、生産体制の双方からカーボンニュートラルに挑戦し、SDGsの理念に基づく「未来の社会づくり」に貢献して参ります。

【参考】

[北海道省エネルギー・新エネルギー促進大賞\(北海道ホームページ\)](#)

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社ダイナックス カーボンニュートラル推進部 石谷

TEL : 080-3291-7945 E-mail : ishitani-t@mail.dxj.co.jp